

### 栗田ひろゆき 議会レポート

新しい年を迎えました。

能登半島地震で被災された多くの方々に、心よりお見舞い申し上げます。

2024年を迎え、難波喬司市長が誕生して9ヶ月が経過しました。

新市長のもと行政運営にも積極的な姿が見られ、現場を大切にしている正確なデータに基づいたスピーディな市政運営に期待が高まっています。

私も市議会議員として、市民の皆さまの為の政治を目指し、より良い静岡市を念頭においた積極姿勢で進むことをお約束いたします。

質問の全容は『静岡市議会 議会中継』を閲覧下さい▶▶



静岡市議会議員 栗田裕之

### 令和5年度11月議会にて下記の3点の質問を行い、行政側の考えを正しました

#### (1) ゼロゼロ融資についての現状と対策について

**A** この制度は、国が実施したものと民間が実施したものとがあり、本市の融資件数は12,000件で県全体の20%に及んでいる。

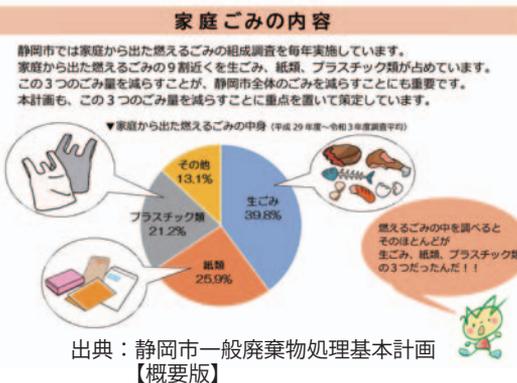
昨年秋より元本の返済が始まる事業者が多くなり、本市制度融資利用者へ借換制度を案内したり、市の中小企業支援センターや商工会議所で資金繰りを含めた経営相談を行っているので相談してほしい。



#### (2) 静岡市のプラスチック資源の分別回収について

**A** 回収済みのPC処理方法の適正化を実現するため、サウンディング調査を実施した。その結果今後事業者がマテリアルリサイクル施設を整備することにより、PC資源を処理できることが可能になった為、分別回収の検討を進めることとした。

家庭ごみの減量化・資源化に向けて静岡市民一人ひとりが再度考える時だと思えます。



#### (3) 静岡市の姉妹都市交流について

**A** 35周年を迎えたシェルビービル市には、難波市長を団長に多くの市民団体に訪問した。現地の日系企業・農業法人・裁判所・州議会・各種学校・病院など訪問。本市の子育てや教育環境の充実や環境整備など多に参考になった。

私は今回もホームステイをさせていただき、とても良い交流ができました。



# 静岡市の能登地震支援活動の報告

令和6年1月25日現在

## 静岡市は480人・延べ人数2,524人が支援活動を行っています

派遣市町は、金沢市・加賀市・輪島市・珠洲市・穴水市・かほく市・七尾市・小松市・氷見市の計9市となっている。支援活動として、医療チーム・被災家屋調査・応急給水活動看護師・下水道被害調査・航空後方支援・支援物資荷捌き活動などです。

## 消防局は、延べ104隊・348名が派遣活動を実行

1月1日～20日まで静岡市から第1次より第7次までに派遣された緊急援助隊は、指揮隊・消防隊・救助隊・救急隊・後方支援隊・特殊装備隊が活動されました。



出典：(一財)消防防災科学センター「災害写真データベース」

## PFAS（有機フッ素化合物）について

### 静岡市発表結果（市長会見を含む）

- 1 令和5年9月より対象工場に使用実績についての聞き取りを始める。
- 2 結果、三井ケマーズ（株）清水工場に水質検査実施を決定
- 3 令和5年10月31日より6ヶ所で検査開始
- 4 結果、周辺水路で国の基準を超えるPFASを検出（10月10日）
- 5 市は個人所有の井戸5ヶ所の地下水の濃度の調査実施
- 6 その結果、周辺井戸4ヶ所で国の基準以上のPFASを検出
- 7 令和5年10月から500m以内の井戸5ヶ所で検査実施
- 8 結果、井戸4ヶ所から国の基準以上のPFASを検出
- 9 市は三保地区の井戸については、当分飲用は控えるよう注意喚起

### PFAS(ピーファス)とは

有機フッ素化合物のうち、1万種類以上の物質があるとされている。物質によっては撥水・滲油性・熱・化学的安定性等の物質を示すものがあり、幅広い用途で使用されている。

### 飲み水について

飲み水中のPFOS,PFOAが暫定目標値を超えることがないように、水道事業者等による管理をお願いします。なお、PFOS,PFOAの摂取が主たる要因ともられる個人の健康被害が発生したという事例は国内において確認されておりませんが、最新の科学的見地に基づき暫定目標の取り扱いについて、専門家による検討を進めています。

なお、一度身体に入っても一生身体の中に残るわけではありません。

### 今後の対策について

PFOS・PFOAの体内への取り入れの主たるものは、飲料水や食品の摂取であり、そこには殆どすべて何らかの量のPFOS・PFOAが含有されている。

一方その地域の水道水については一定の含有量が検査されている。

よって、現時点での濃度の高い飲料水を長期にわたり摂取しないことである。静岡市の水道水中のPFOS・PFOAは基準を大きく下回っており、飲用に問題はない。井戸地下水についてはPFOA濃度が高い場合は飲用を控えるべきである。

## 障害者福祉の充実を求める要望書

「障害者福祉の充実を求める要望書」がきょうされん静岡支部から出されました。5項目の具体的要望となっており、風間議員・松谷議員と共に要望いたしました。



## 市民環境教育委員会

### 市民生活を支えるための補正予算編成

**増額：外国人児童生徒日本語指導** 733万円(総額 1,325万円)  
日本語指導を受ける外国人児童・生徒等の増加に伴い、事業費を増額。本市は従来から教室指導または訪問指導を行っている。このほかにも、市内公立小中学校では多文化共生、相互理解のための前向きな取り組みが児童生徒・教職員らにより積極的に行われている。

### 新規：城内中エレベーター設置

2億1,900万円(令和6年度)

車椅子など移動に配慮が必要な生徒が通常学級で通えるよう、城内中学校でエレベーターの設置工事を行う。

中学校エレベーター設置については当該学区で児童・保護者ら市民から具体的な要望があり、議会でも活発に議論が行われたのちに、事業実施となりました。(風間重樹委員長・長沼滋雄)



## 観光文化経済委員会

### 静岡市に市民球団誕生！

### 清水庵原球場整備事業 3,000万円

清水区庵原球場を本拠地とするプロ野球球団ハヤテ223が、NPB ファームリーグに参加するために必要な改修を実施。具体的には内野スタンドネットの嵩上げやラバーフェンスの改修を行います。



65年ぶりにプロ野球の球団が2球団増加し、その一つが静岡市を本拠地とするハヤテ223(ふじさんと呼ぶ)です。本市は球団と協力協定を結んでおり、地域に根差したチームとなるよう支援していきます。(石井孝治)

## 厚生委員会

### 市民生活を支えるための補正予算編成

### 増額：子ども医療費助成 3.4億(総額 28.9億円)

子どもが感染しやすい感染症の流行により医療費が増額した事に伴う事業費の増額。対象0歳から18歳の子ども。500円/回  
**臨時：病院群輪番制病院設備整備事業費補助金** 2,740万円  
休日及び夜間の二次救急医療を担う病院群輪番制に参加する病院の設備整備に対する助成。

### 増額：生活困窮者一時生活支援事業 840万円

住まいのない生活困窮者の急増に伴う、居住確保までの一時生活支援事業。

※他9事業を審議、議決をおこないました



厚生委員会では医療、福祉、障がい者支援など日々の市民生活に密着した事業を行っています。課題やお困り事があれば声を聴かせてください。(栗田裕之・宮澤圭輔)

## 都市建設委員会

### 安心・安全の確保

### 急傾斜地崩壊対策事業 2,000万円

令和4年の台風15号により被災した清水区がけ崩れ対策工事  
**巴川流域治水対策事業** 8,500万円 期間R6年5月、6月  
巴川流域における水害対策として、雨水貯蔵施設の整備を進めている。大雨予想時に、事前に防災調整池の滞留水を排水し、水位を下げるためのポンプを設置するとともにポンプの運転状況をインターネットで確認・コントロールする。  
設置箇所①弁天池(葵区瀬名地区)②所川堤(清水区矢部地区)

### 河川災害復旧事業 2億2,000万円

実施期間 R5年11月～R6年5月  
葵区諸子沢で発生した地すべりによって、河川内に流入した土砂の撤去を実施する。  
被災箇所：諸子沢川 7,300㎡の残土処理



被災した諸子沢

豊かな自然に恵まれた地域が台風や大雨等の災害によって日常の平和な生活が脅かされており1日も早い復旧が求められます。(安竹信男)

## 総務委員会

### 場所や時間に制約されない納税環境の充実・拡大

### 地方税統一QRコード対応納付書発行プログラム更新事業 5,000万円

令和5年4月に固定資産税・都市計画税・軽自動車税種別を対象として導入した「地方税統一QRコード」による市税の電子納税(スマホ決済・クレジットカード決済など)に加え、新たに令和6年4月より、その対象を個人住民税など、すべての税目・納付書(個人対象)に拡大する。場所や時間に制約されない納税環境を提供し、納税者の利便性を向上させることで、市税収納率の向上を図る。



日常生活に追われている市民にとって、行政手続きには、時間を要することが多かった。納税についても、税目によって支払窓口が違い、初めて経験する市民にとっては、市役所は敷居の高いものとなっていた。今後はコンビニ対応で一括で行えることにより、市民に分かり易い仕組みとなることを期待する。(白鳥実)

## 企業消防委員会

### 静岡市火災予防条例の一部改正について

消防法施行省令の一部改正に伴い、本条例の蓄電池設備及び固体燃料を用いた火気設備に関する規定について改正されます。蓄電池の高性能化・大容量化に合わせ、これまでの名称や定義、設置基準が更新されます。



静岡市消防キャラクター

本市における火災の発生状況の内、蓄電池設備が出火原因となった火災は0件、固体燃料を用いた火気設備が出火原因となった火災は1件(平成30年以降)です。今回の改正は主に、蓄電池等の製造者や施工業者等に関わる場所があり、長期的には蓄電池の大容量化の開発設置につながっていくと予想されます。関係する製造者や施工業者等へのわかりやすい説明と、火災予防に向けての更なる取り組み、審査・指導の徹底を要望しました。(浜田佑介)

11月議会の創生静岡代表質問では、会派作成の来年度予算に対する「提言書」の受け止めや、静岡県知事との連携を始め、防災対策・「文化・スポーツ」を重視した街づくりの在り方について伺いました。

①創生静岡は、11月16日「健全な市政運営の推進」を始めとする「令和6年度政策提言書」を難波市長に提出しました。

**Q** 創生静岡の提言内容をどう受け止めているか。また、予算編成にどう活かしていくか。

**A** 貴会派の提言は、私が重視する「根拠と共感に基づく政策執行」に基づき、この点については、貴会派と意思を一つにする。提言では、「健全な市政運営の推進」、「安全安心なまちづくり」などの6つの柱のもと、196項目にわたる具体的な要望を頂いた。例えば、柱の一つである「子育てしやすいまちづくり」では、保育士確保の支援策の充実や学校施設的环境整備の促進など、子育て・教育分野に関する35項目の要望を頂いている。子育て・教育分野は、重点的に取り組むべき分野の一つ。市民の切実な悩みや希望、保育士や教師などの現場の声をしっかり聴き、全国の先進事例の収集・分析等を行い、要望を踏まえ、令和6年度予算に反映していく。

②7年ぶりに3首長のトップ会談「静岡県知事・政令市市長会議」が開催された。人口減少・激甚化する豪雨災害への対応などを巡り議論を交わした。三者の写真は、難波市長が会議の中心であったかのように掲載された。

**Q** 県知事との連携について市長はどのように進めていくのか。

**A** 県と市は組織としてこれまでも巴川総合治水対策事業や清水港周辺のまちづくりといった共通する行政課題に対し、緊密に連携して取り組んできた。知事と市長の連携は行政運営上、きわめて重要であると認識している。私自身、副知事時代に知事と多くの議論を交わしてきた。改めて、現在、市長の立場で知事と意見交換を行っているところ。更に、不妊治療における保険適用後の治療費助成など、より具体的な事業について県へ予算要望を行ったほか、今後はルートラップフォーメーションに関する連携強化について、改めて知事に要請に伺う。知事とは今度も引き続き、機会を捉えて意見交換を行い連携していく。連携を深める事が、市長としての役割として重要であると考えている。



③昨年の台風15号では、甚大な被害が発生し、市民生活に大きな影響が及んだ。災害対応において初動対応のあり方や情報収集など、令和4年度から災害対応に係る検証作業を進めてきた。

**Q** 「災害対応力強化実施計画」と「清水区水源検討部会」の進捗は。

**A** 風水害への対応力を総合的に強化することを目的に、「災害対応力強化実施計画」を本年8月に策定した。主な取組は、「災害に対応できる配備体制の構築」、「DXを活用した災害情報の収集・発信体制の構築」、「災害を未然に防ぐための浸水や断水対策」などを掲載している。「清水地区水源検討部会」では、新たな水源確保の検討を目的に、第4回検討部会では、水源リスクの分散や、必要な水量確保など、対策案の精査を行った。結果、井戸水の利用、静岡地区から水を送る既存北部ルート強化や、非常時のポンプ車等の使用など、6つの案を組み合わせた対策が、最適と評価した。今後、令和6年1月に開催予定の「静岡市上下水道事業経営協議会」で議論し、市の方針を決定し、令和6年度からの事業実施していく。

④11月22日ハヤテ223（ふじさん）が、静岡市を拠点とするプロ野球の2軍球団として正式決定致しました。山下大輔GM、赤堀元之監督と静岡の野球ファンには馴染みの深い方々が、初代リーダーとして抜擢されました。

**Q** 静岡発のプロ野球球団ハヤテ223の2024シーズン開幕に向けての取組みは。

**A** 球団からは主に、2024シーズン開幕に向けて、1点目の球場の安全安心対策として、プロ野球選手の強い打球から観客を保護する内野スタンド防球ネットの嵩上や、球場敷地外の歩行者や車両を保護する場外防球フェンスの新設、選手の安全を確保する外野ラバーフェンスの修繕を行う。2点目のホームゲームの利用日数の確保は、アマチュア野球団体との利用調整を行うこと。静岡県と連携し、草薙球場・愛鷹球場の利用も確保する予定。3点目の交通対策は、臨時駐車場の確保や、JR清水駅等で発着するシャトルバスの運行協力。4点目の安定経営の下支えは、球場ネーミングライツの導入。令和6年1月中旬には、パートナー企業と愛称を決定する予定。引き続き球団を全面的に支援していく。

## 令和6年度創生静岡政策提言書を難波市長に提出

この提言書は、令和6年度当初予算編成に向け、本市が取組むべき「行財政改革や安心安全なまちづくり、子ども子育てのしやすいまちづくり」など6つのテーマ、計196項目を記載し、着実な実行を求めるものです。

難波市長からは、「行財政改革などは同意するところが多く、進めていく」との決意も伺いました。



提言書の全文は会派ホームページ、もしくは下記QRコードより参照できます。



## 第85回全国都市問題会議：八戸市の文化によるまちづくり

市民による文化活動が盛んな八戸市。中心街再生の起爆剤として2011年新たな交流と創造の拠点八戸ポータルミュージアム「はっち」が開館。合わせてアートプロジェクトも発足。そのコーディネーターを地元出身のUターン今川和佳子さん中心に進め、「飲み屋横丁」や「まちの噂話」等、これまでの枠に捕らわれない文化をテーマにハコものだけに頼らない地元市民が主体の活動をし、賑わい創出に貢献している。

本市も2023年1月に歴史博物館がオープンしました。市民が集う場をより活かすためにも、「人」が中心となる取組みを行い、市民に愛される施設になるよう提案してまいります。

